

「未来としまミーティング」の実施報告について

1、目的

豊島区が目指す「ひとが主役」のまちづくりをさらに推進するため、区民と区長が対話を行うことにより、区民の皆様に区政を身近に感じていただくとともに、区民視点での区政運営を実現することを目的に「未来としまミーティング」を実施する。

2、実施報告

テーマ：これからの公立学校に期待すること（3回とも共通）

参加者：区立小・中学校の児童生徒の保護者等 ※学校運営連絡協議会の委員が10名（内数）

回数	日時	会場	参加者
第一回	12月20日（水）18時00分～20時15分	豊島区庁舎	27名
第二回	1月15日（月）18時00分～19時30分	長崎小学校体育館	12名※
第三回	1月28日（日）13時30分～15時00分	西巢鴨小学校多目的室	12名

合計 51名

3、参加者から出た主なご意見（一部抜粋）

- 不登校児童や外国籍児童への対応について、重点的に行ってほしい。
- 学習や居場所づくりは、地域の人たちの力も借りてサポートしていけるとよい。
- 教育は信頼関係がないと成り立たない。行政、学校、保護者、地域も含めて協力していかないといけない。

4、参加者からの感想（一部抜粋）

- このような話し合いは、これからも続けてほしいです。
- 区長が、本気で子ども達のことを考えていて、未来は明るいと思いました。
- 様々なテーマで開催していただきたい。女性・高齢者の貧困など興味があります。

5、当日の様子



豊島区庁舎で実施（第一回目）



西巢鴨小学校の多目的室で実施（第三回目）

6、まとめ

頂いたご意見やご要望は、報告書を作成しホームページで公表するとともに、教育大綱をはじめとした様々な施策に反映させていく。第1回報告書については別紙参照。

第1回 未来としまミーティング 報告書



■ 日時

日 時:令和5年12月20日(水) 18時~20時15分

場 所:豊島区役所 5階会議室

担当課:企画課、庶務課

■ 実施方法

意見交換は、以下のテーマで A グループと B グループの2グループに分かれて、1回35分間を2回行う。

【テーマ】

高際区長が入るグループ :これからの公立学校に期待すること

金子教育長が入るグループ :これからの公立学校に期待すること

(主に学習・教育活動等に関すること)

1回目は高際区長が A グループ、金子教育長が B グループ。

※2回目は入れ替え。

■ 参加者数

豊島区立小・中学校に通う児童・生徒の保護者 27名

■ 出席者(区側)

豊島区長 高際みゆき

豊島区教育委員会教育長 金子 智雄

■ 主な意見(要約)

A グループのご意見について
<p>(不登校問題について)</p> <ul style="list-style-type: none">・全生徒数の1割が不登校の学校もある。みんなが行けるような学校にしてほしい。・教育センターの「ゆずの木教室」など不登校の子どもの居場所を各地域に作ってほしい。・「にしまルーム」のような子どもの居場所を他の学校にも作ってほしい。・不登校でクラスには入れなくても、他の教室で授業を受けたりした場合に出席扱いにしてもらえるといい。
<p>(中学校に関する要望について)</p> <ul style="list-style-type: none">・公立中学校の魅力を増やしてほしい。私立中学校はコストもかかるし、子どもの受験勉強のストレスもある。公共交通機関を利用しての通学を認めてほしい。・改修が終わっている学校と終わっていない学校の差が大きい。・近くの人気校に子どもが集まってしまう。
<p>(放課後の居場所・遊び場について)</p> <ul style="list-style-type: none">・子どもスキップの帰り道について、最近は16時ごろでも暗いため、安心安全のパトロールや青パトを集中的につけて子どもの見守りをしてほしい。・子どもスキップが狭いため、子どもが多い日は体育館を使うなどしてほしい。・職員は非常に情熱的でやる気を持って、すごく良くしてもらっている。・子どもスキップで夏休みに提供されているお弁当の評判がよくない。・子どもスキップに入れる条件が厳しい。習い事の曜日をずらして通わせている。子どもが安心して過ごせる場所がとても少ないと感じている。・遊ぶ場所が少ない。公園は狭いところが多く、フェンスがないためボール遊びができない。・バスケットボールのリングがある公園は、豊島区に1か所しかないので増やしてほしい。
<p>(学校での教育・指導について)</p> <ul style="list-style-type: none">・宿題は学校で終わらせてきてほしい。共働きで子どもの宿題をフォローする時間もない。・学校からのお知らせなどは、データ化して親に直接送ってほしい。・学校教育で体験、経験する機会をもっと増やしてほしい。・学力テストの内容について、知識だけではなく、成長過程を表すようなものにしてほしい。・ストレスマネジメントの授業が子ども用にもあるといい。子どものストレス解消方法を道徳の授業で教えたり、保護者にも子どもにどう接すればいいか教えたりしてくれるといい。
<p>(タブレットについて)</p> <ul style="list-style-type: none">・タブレットの利用について、通っている学校はとても進んでおり、中学校に進学したときに活用レベルを合わせるために平均程度まで下げる。そうするとその小学校から来た子どもは簡単で楽しくないと感じている。差が出るのは学校の先生のレベルによる。

<p>・お知らせが紙とタブレットで2重に送られるが先生の二度手間になっていると思う。ICTに詳しくない保護者も多いが、区としての方針を定めると保護者もがんばると思うし、先生の負担も減る。子どもたちの方がSDGsにすごい敏感なので、紙を無駄にしているという感覚が強いと思う。</p> <p>・ICTが苦手な保護者に対しての区の講習会をぜひやってほしい。</p>
<p>(各種教室について)</p> <p>・子どもに読み書きに係る障害があり、「あおぞら教室」に行っているが、週1だと少ないため回数を増やしてほしい。障害のある子どもでも輝ける場所があることを子どもに教えてほしい。</p> <p>・子どもが発語について気になるようで、「言葉と聞こえの教室」に通っている。職員がとてもよく、通ってよかったと思っている。</p>
<p>(学校・教職員の余裕のなさについて)</p> <p>・学校の余裕を生むためにも行政には学校のパートナーになってほしい。学校がやりたいことができるように予算を付けてほしい。</p> <p>・保護者としても学校の役に立ちたいと思う。学校がやってほしいこと、ほしいものを出してもらい、保護者側は時間やお金がある際に対応するようなマッチングシステムがあると保護者も協力できると思う。学校単位でやるのは難しいので、区としてプラットフォームを作ってほしい。</p>
<p>(障害がある子どもへの理解について)</p> <p>・子どもはダウン症だが通常学級に通っている。障害のある子を助けることにより周囲の子どもも自己肯定感が高まっているのではないか。</p> <p>・障害者の子どもと一緒にいることで、合理的配慮ができるようになり健常者の子どもも成長する。また、インクルーシブ教育が進むと成績も上がる。</p>
<p>(PTA活動について)</p> <p>・PTA同士のトラブルがあったり、PTA役員決めで揉めたりするため、PTAを廃止してほしい。</p> <p>・PTAが入学式、卒業式の手伝いもしているし、もっと学校の先生もPTAを頼っていいと思う。一方、PTAの中には小中学校は義務教育だから学校の仕事は学校や行政がやるべきと思っている人も多い。だからPTA廃止とか縮小運動が起こっている。</p>
<p>(学区について)</p> <p>・豊島区の学区はおかしいと思う。隣接校選択制度は入学時にしか使えず、引っ越してきた子は近くの学校に通えず歩いて20分かけて通ったりもしている。引っ越してきた子も制度が利用できたり、他自治体のように特定地域を設けたりしたほうが良い。</p>
<p>(公共施設について)</p> <p>・豊島区のプールは、小学生は単独で利用できない。泳力認定試験に合格すると4年生以上であれば一人でも利用できる。東京都体育館や他区のプールは、4年生になるとそういう</p>

試験がなくても単独で利用でき、子ども同士で行って体力アップができる。浅いコースを作るとか、子ども専用レーンを作れば良いと思う。

(その他)

- ・日本文化に触れる機会をもっとつくってほしい。
- ・池袋駅の西口や北口は風俗が多く、子どもにあまり見せたくないのでは何かしてほしい。
- ・誰もが主役という豊島区の国際的イメージがとても素晴らしいと思った。
- ・学校ごとに特色があると思うので、子どもの興味によって学校を選べると良い。

B グループのご意見について

(不登校問題について)

・中学校の不登校生徒の割合が8%ぐらいとのこと、多いことに驚いている。幼稚園や保育園では小学校に上がる際のサポートがあったと思うが、小学校と中学校の連携はないのか。何か対策をしてほしい。

(学校での教育・指導について)

- ・コロナ前にやっていた補習制度を復活させてほしい。
- ・グローバル教育をやるといって、英語の授業があったり外国について調べ活動をしたりするだけ。外国籍の子どもが多いので、その子どもにインタビューするとか、その保護者にゲストティーチャーとして来てもらうとか授業を工夫してほしい。

(地域の人たちからの支援について)

- ・学習や子どもの居場所づくりにおいて、地域の力も借りてサポートしていけると良い。
- ・学校は閉鎖的なので、外部指導員をどんどん中に入れていけばいい。その窓口はPTAでもいい。

(各種教室について)

・「言葉と聞こえの教室」はとても良かったが、ダウン症があると通えない。障害の有無によって通えない教室あるので、基準について検討してほしい。

(障害がある子どもへの理解について)

・宿題をやりたくてもできない、病院で診断されているのに、それで内申点が下がるのは納得いかない。障害に対して理解がない先生もいるので、理解を深めてほしい。

(水泳について)

・コロナで水泳の授業がずっとなかったが、最低限自分の命を守るためにも、近隣の施設を活用するなどして水泳や体を動かす時間を確保してほしい。

(放課後の居場所について)

・子どもが放課後に遊ぶ場所や区民ひろばなどに置いてあるおもちゃが幼稚だと思う。科学的な実験キットとかが恒常的にあると良い。

<p>(学力について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校の学力平均は全国平均より少し上回る程度のようなのだが、何か対応しているのか。 ・体力は全国平均を上回っていないが、プールの回数が少ないのももう少し前から始めるとか、校庭が狭いので、狭いなりに何かできることをしているのか。
<p>(タブレットについて)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレットはとても活用が進んでいる。ルールもあって安心している。ほぼペーパーレスになっており、クラスルームや安全安心メール、LINEを活用している。 ・タブレットの活用がどんどん進み親がついていけず子どもをサポートできない。各家庭で差が出てこないように親をサポートしてほしい。 ・タブレットを規制しても突破してしまうし、解除方法が口コミで広がる。学校から配られたものは安心して使わせたい。 ・子どもにITリテラシーを持ってほしい。自分が加害者になったり詐欺に引っかかるリスクがあるということを保護者も含めて学べる機会があると良い。
<p>(部活動について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休日部活でダンス以外もやってほしい。 ・部活動で学ぶこともあると思うので、検討しなおしてほしい。 ・地域の人材や保護者の力を借りて担任や学校をサポートできると良い。
<p>(学校・教職員の余裕のなさについて)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員の余裕のなさが伝わっているので、PTAでできることは相談してやっている。 ・教育は信頼関係がないと成り立たない。行政、学校、保護者、地域も含めて協力していかないといけない。
<p>(学校での教育・指導について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・習字、絵の具の道具を学校で洗うように指導してほしい。 ・先生が甘い。宿題も数日に1回、5分で終わる。もう少し厳しくしてほしい。
<p>(コミュニティ・スクール(CS)について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入校のCSでは、学期に1回、鉄道関係者や警察などが来て、いじめ0やケガ0を目標に取り組んでいることを報告したり、子どもの意見も伝えたりしている。地域の人が検定の試験監督に来てくれて、PTAのサポーターは半分減った。CSの会議で歩道橋が危ないという話を子どもがしたら区が改修工事をしてくれた。
<p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すでに卒業している子どもを持つ保護者や地域の人声を聴く機会も設けてほしい。 ・スクールカウンセラーを増やしてほしい。子どもたちが不安定になる学期ははじめだけでもいいので2人体制にするなどしてほしい。

■ 当日の様子



開会のご挨拶



活発な意見交換の様子



最後は、参加者で記念撮影



■ 参加された方の感想

- ・意見を募るならメールなどでも公募したら良い。次の回の開催を期待している。
- ・中学2年生の息子が見学させて頂いたのですが、「にしまる一むのよくない点を知りたい」と話していた。意見をメールで送る事ができると知り、送りたいと思う。
- ・一般の保護者の方が、行政の方や教育委員会と意見交換ができる場をもっと知っていただいて、活用していただけたら良いと思う。
- ・このような話し合いは、これからも続けてほしい。 区長が、本気で子ども達のことを考えて下さっていると感じ、未来は明るいと思った。
- ・“学校が地域の中核”となる仕組みを作ってほしいと思う。そのためには、保護者に限らず、地域住民の方の意見も公募して頂きたい。今日のフィードバックもして頂きたい。
- ・関心のある方から、じわりと関心のない方にも広がると嬉しいです。
- ・様々なテーマで開催していただきたいです。女性・高齢者の貧困なども興味がある。
- ・今回、様々な意見を聞けて、とても良い機会を提供して下さり、有意義な時間を過ごせた。
- ・多くの話題が出たのもっとじっくり話したかった。これまで困っていた事などを区長に直接お伝えできてありがたかった。
- ・休日に開催できると、参加希望者増えると思う。テーマが大きかったのもう少し内容を絞ってもいいのかと思った。でも、色々なテーマが聞けて楽しかった。もっと皆さんの意見を聞きたかった。
- ・参加者により考え方や意見が異なるため、どのように区政に活かすのが注意が必要と思った。
- ・参加者の方は積極的に発言していたと思う。高際区長と金子教育長はそこまで親切に聞いていただき、誠に感動した。素晴らしい高野区長続き高際区長がいる豊島区で生活していて、本当に良かったと思っている。



令和6年2月 編集・発行 教育部庶務課
問い合わせ:03-3981-1591(所管課電話番号)